

# 岡山県感染症週報 2015年 第42週 (10月12日～10月18日)

岡山県は『腸管出血性大腸菌感染症注意報』発令中です。

## ◆2015年 第42週 (10/12～10/18) の感染症発生動向 (届出数)

### ■全数把握感染症の発生状況

第40週	2類感染症	結核	3名 (乳児 女 1名、小学生 女 1名、80代 女 1名)
第41週	2類感染症	結核	5名 (60代 男 1名、70代 男 2名、80代 男 2名)
	3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1名 (O103: 20代 女)
	5類感染症	アメーバ赤痢	1名 (50代 男)
		カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1名 (80代 男)
第42週	2類感染症	結核	3名 (70代 女 1名、80代 男 1名・女 1名)
	5類感染症	梅毒	1名 (20代 男)

### ■定点把握感染症の発生状況

- 伝染性紅斑は、県全体で15名 (定点あたり0.26 → 0.28人) の報告があり、前週とほぼ同数でした。
- RSウイルス感染症は、県全体で34名 (定点あたり0.67 → 0.63人) の報告があり、前週とほぼ同数でした。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、県全体で35名 (定点あたり0.41 → 0.65人) の報告があり、前週よりわずかに増加しました。

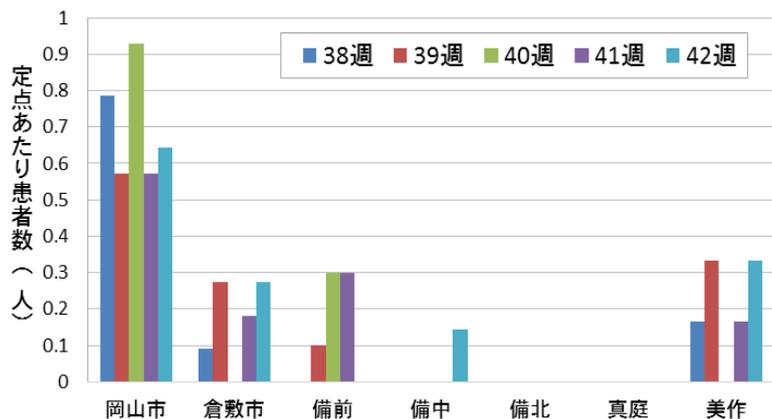
### 【第43週 速報】

- 美咲町の小学校1校で、流行性耳下腺炎による学年閉鎖がありました。(10月19日)
- 倉敷市の小学校1校で、マイコプラズマ感染症 (疑い) による学級閉鎖がありました。(10月21日)

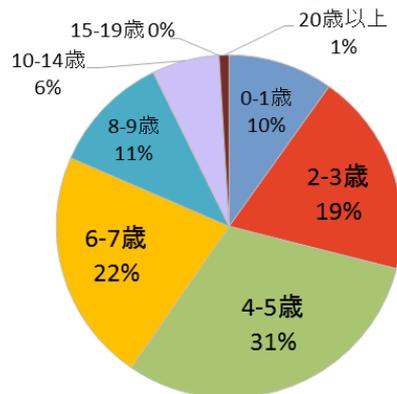
1. **腸管出血性大腸菌感染症**は、第41週に1名の報告があり、岡山県の2015年第42週 (～10/18) までの累計報告数は、60名となっています。岡山県では、「**腸管出血性大腸菌感染症注意報**」を発令し、注意喚起を図っています。手洗いなどを徹底するとともに、食品は冷蔵庫で保存し調理後はできるだけ速やかに食べる、食肉、特にハンバーグ等は中心部まで火を通すなど、感染予防に努めましょう。詳しくは、岡山県感染症情報センターホームページ『**腸管出血性大腸菌感染症注意報 発令中!**』をご覧ください。
2. **伝染性紅斑 (リンゴ病)**は、県全体で15名 (定点あたり0.26 → 0.28人) の報告があり、前週とほぼ同数でした。過去10年間の同時期と比較して最も多い状態で推移しています。詳しくは、「**今週の注目感染症**」をご覧ください。
3. **RSウイルス感染症**は、県全体で34名 (定点あたり0.67 → 0.63人) の報告があり、前週とほぼ同数でした。第37週からほぼ横ばいで推移しています。地域別では、岡山市 (1.29人)、美作地域 (0.83人)、倉敷市 (0.73人) の順で、定点あたり報告数が多くなっています。2015年第42週までの年齢別累計割合では、1歳未満の乳児が全体の45%と最も高く、ついで1歳が32%の順となっています。第41週全国集計によると、2週連続で患者報告数が増加しており、過去10年間の同時期と比較して多い状態です。都道府県別では、山形県 (4.67人)、徳島県 (3.87人)、福島県 (2.83人) の順で、定点あたり報告数が多くなっています。この感染症は、大人は軽い風邪程度で軽快しますが、乳児が感染すると重症化する恐れがあります。例年、秋から冬にかけて多くの患者が報告されるため、ひきつづき今後の県内の発生状況に注意してください。また、乳児がいる家庭では、特に感染予防に努めてください。
4. **A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**は、県全体で35名 (定点あたり0.41 → 0.65人) の報告があり、前週よりわずかに増加しました。地域別では、真庭以外の全ての地域で患者の発生報告がされており、特に備中地域 (0.14→1.29人) で、定点あたり報告数が前週より大きく増加しています。就学前から学童期の小児に多い感染症で、突然の発熱と体のだるさ・のどの痛みで発症し、しばしば嘔吐を伴います。患者との濃厚接触を避け、手洗い・うがいを行うなど、感染予防に努めましょう。



岡山県 伝染性紅斑発生状況

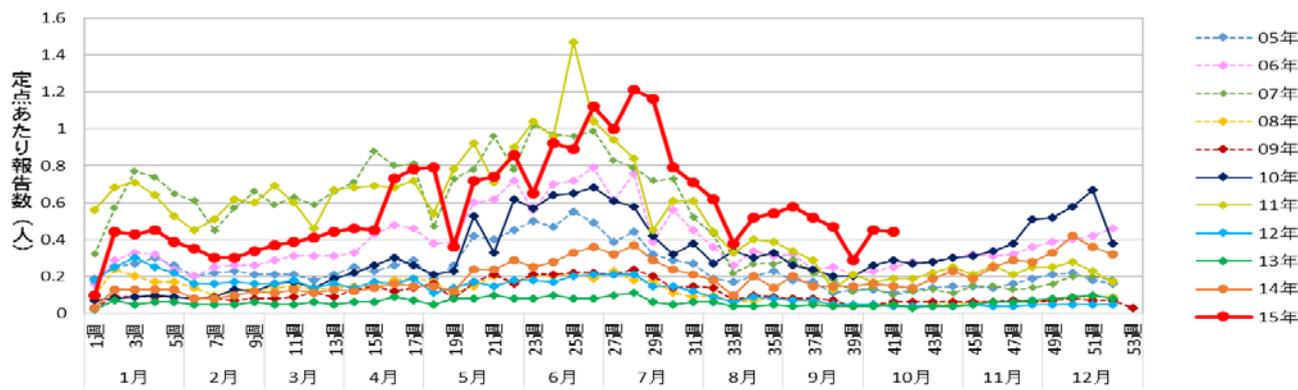


伝染性紅斑 年齢別発生状況 (2015年第1~42週)

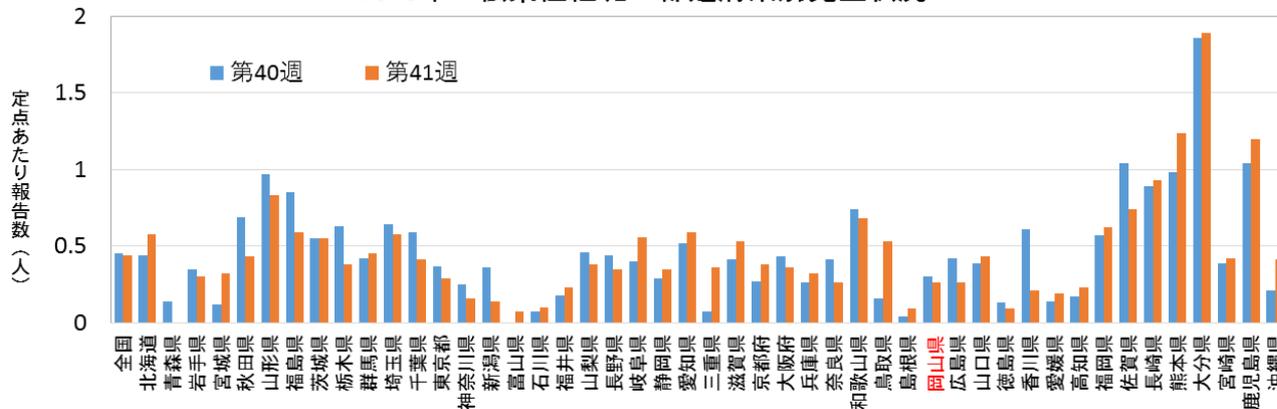


【全国の発生状況】

伝染性紅斑 全国発生状況 過去10年間との比較グラフ



2015年 伝染性紅斑 都道府県別発生状況



第41週全国の発生状況は、定点あたり0.44人であり、患者の発生が多くみられた5~7月より減少しましたが、過去10年間の同時期と比較して最も多くなっています。都道府県別では、大分県(1.89人)、熊本県(1.24人)、鹿児島県(1.20人)の順に定点あたり報告数が多くなっており、九州地方で患者の発生が多くなっています。

[IDWR 速報データ 2015年第41週 \(国立感染症研究所\)](#)

【伝染性紅斑とは】

伝染性紅斑は、ヒトパルボウイルス B19 の感染によるもので、紅斑を主症状とする流行性発しん性疾患です。両頬がりんごのように赤くなることから、「りんご病」とも呼ばれています。頬に発しんが出現する7~10日前に、微熱や咳などの風邪の様な症状がみられることがあり、この時期にウイルスの排出量が最も多くなります。ウイルス排出期には特徴的な症状を示さないため、実際的な二次感染予防策はありません。妊娠中(特に妊娠初期)に感染した場合、胎児異常(胎児水腫)や流産の危険があるため、妊娠中の方は伝染性紅斑が周囲で流行している時、風邪の症状がある人に出来るだけ近づかないよう注意が必要です。

[伝染性紅斑とは \(国立感染症研究所\)](#)

保健所別報告患者数(定点把握) 2015年 42週

( 2015/10/12~2015/10/18 )

2015年10月22日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当														
インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	34	0.63	18	1.29	8	0.73	-	-	1	0.14	2	0.50	-	-	5	0.83
咽頭結膜熱	12	0.22	4	0.29	1	0.09	4	0.40	1	0.14	-	-	-	-	2	0.33
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	35	0.65	7	0.50	13	1.18	1	0.10	9	1.29	2	0.50	-	-	3	0.50
感染性胃腸炎	209	3.87	31	2.21	71	6.45	49	4.90	19	2.71	14	3.50	7	3.50	18	3.00
水痘	6	0.11	2	0.14	1	0.09	-	-	-	-	-	-	2	1.00	1	0.17
手足口病	24	0.44	7	0.50	4	0.36	5	0.50	1	0.14	3	0.75	-	-	4	0.67
伝染性紅斑	15	0.28	9	0.64	3	0.27	-	-	1	0.14	-	-	-	-	2	0.33
突発性発疹	20	0.37	11	0.79	6	0.55	1	0.10	-	-	-	-	-	-	2	0.33
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	2	0.04	1	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.17
流行性耳下腺炎	33	0.61	7	0.50	10	0.91	1	0.10	-	-	-	-	3	1.50	12	2.00
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	6	0.50	2	0.40	2	0.50	-	-	2	2.00	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	0.20	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

( - : 0 or 0.00 ) ( 空白 : 定点なし )

保健所別報告患者数（発生レベル設定疾患）2015年 42週 （2015/10/12～2015/10/18）

2015年10月22日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当														
インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	12	0.22	4	0.29	1	0.09	4	0.40	1	0.14	-	-	-	-	2	0.33
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	35	0.65	7	0.50	13	1.18	1	0.10	9	1.29	2	0.50	-	-	3	0.50
感染性胃腸炎	209	3.87	31	2.21	71	6.45	49	4.90	19	2.71	14	3.50	7	3.50	18	3.00
水痘	6	0.11	2	0.14	1	0.09	-	-	-	-	-	-	2	1.00	1	0.17
手足口病	24	0.44	7	0.50	4	0.36	5	0.50	1	0.14	3	0.75	-	-	4	0.67
伝染性紅斑	15	0.28	9	0.64	3	0.27	-	-	1	0.14	-	-	-	-	2	0.33
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	2	0.04	1	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.17
流行性耳下腺炎	33	0.61	7	0.50	10	0.91	1	0.10	-	-	-	-	3	1.50	12	2.00
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	6	0.50	2	0.40	2	0.50	-	-	2	2.00	-	-	-	-	-	-

今週、岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル2、レベル3に該当するものではありませんでした。

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 ( 2015年 第42週 2015/10/12~2015/10/18 )

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80~
インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20~	
RSウイルス感染症	34	5	7	10	4	4	1	1	2	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱	12	-	-	5	2	2	1	1	-	1	-	-	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	35	-	-	-	2	3	5	3	4	9	2	5	1	-	1
感染性胃腸炎	209	5	21	26	17	22	13	13	10	8	5	13	20	6	30
水痘	6	-	-	1	-	1	1	1	1	1	-	-	-	-	
手足口病	24	-	1	8	3	2	7	-	1	1	-	-	-	-	1
伝染性紅斑	15	-	1	1	1	1	1	3	2	1	1	2	1	-	-
突発性発疹	20	1	7	11	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	2	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	33	-	-	2	7	3	6	5	3	2	1	2	1	1	-

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70~
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	6	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3	1	-	-	-

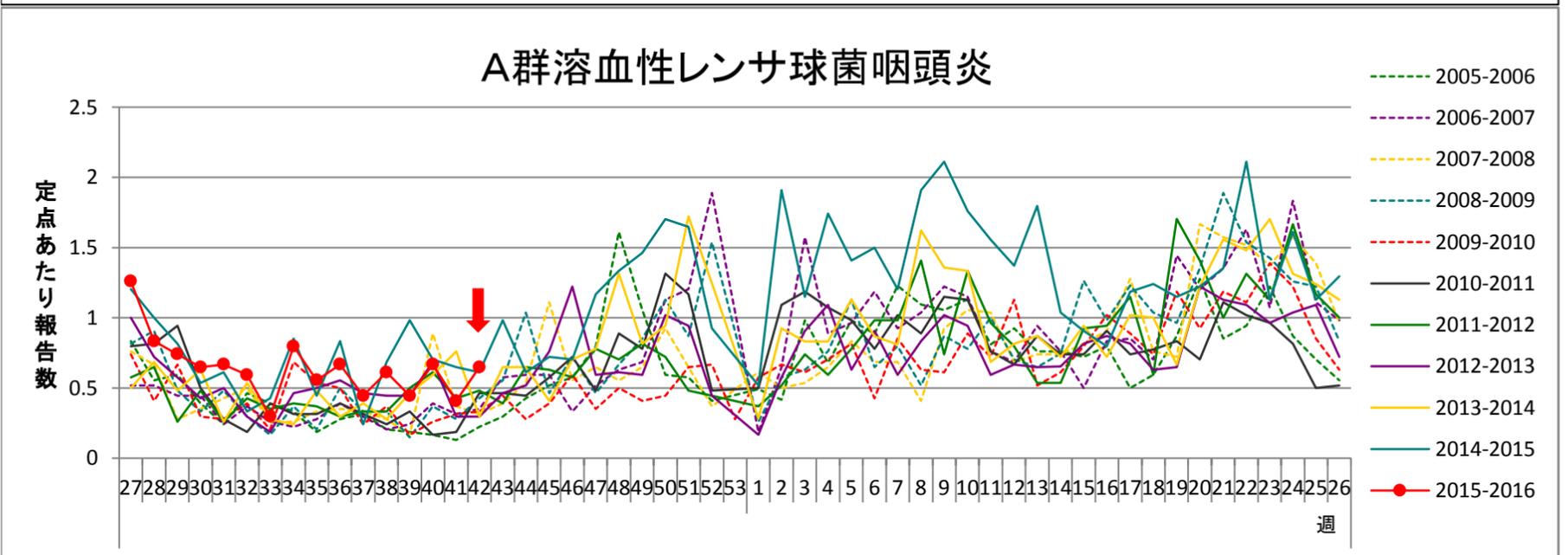
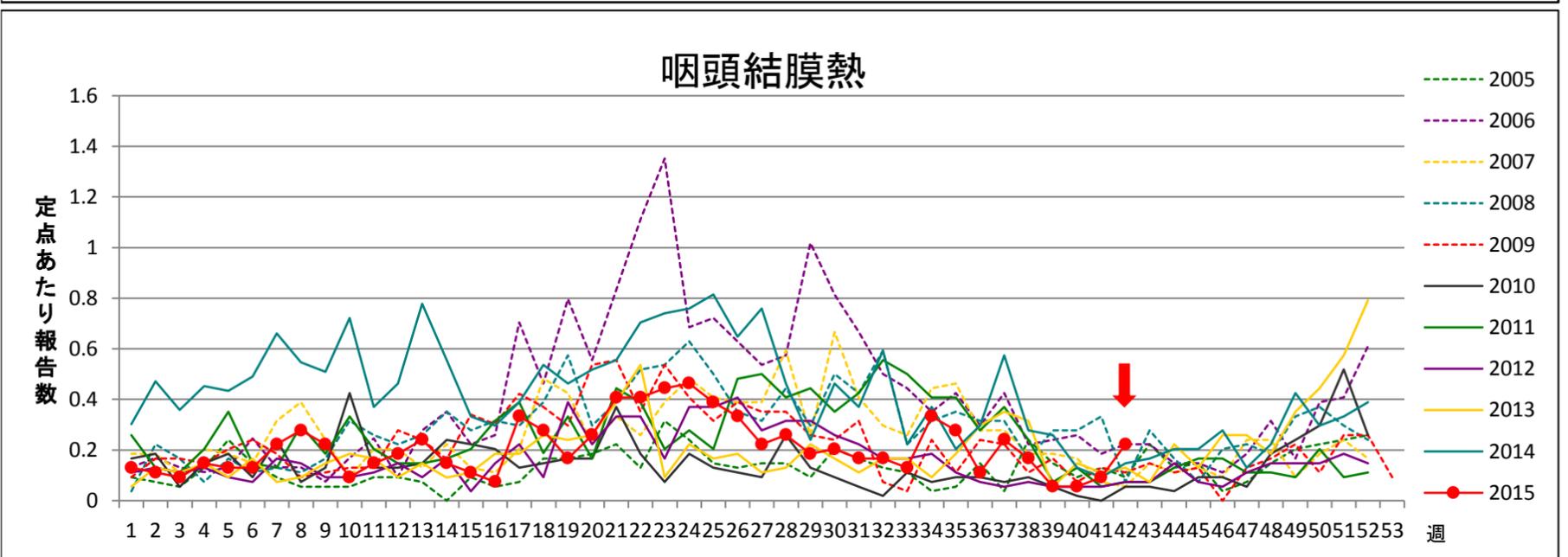
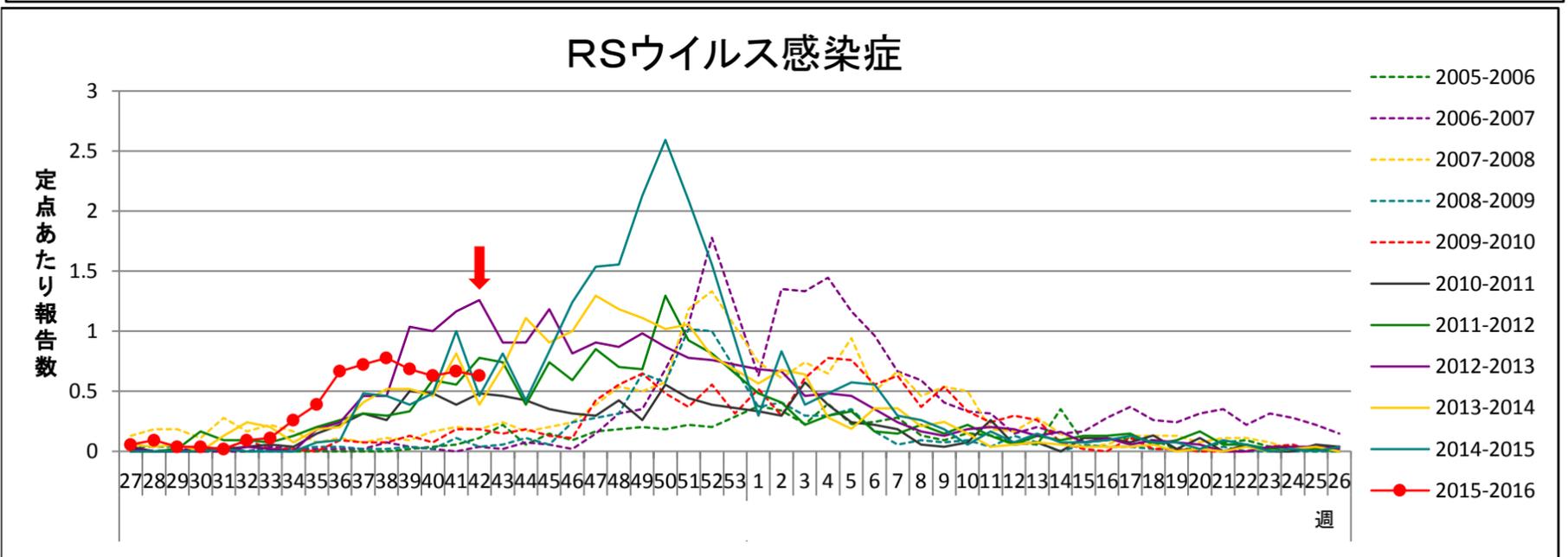
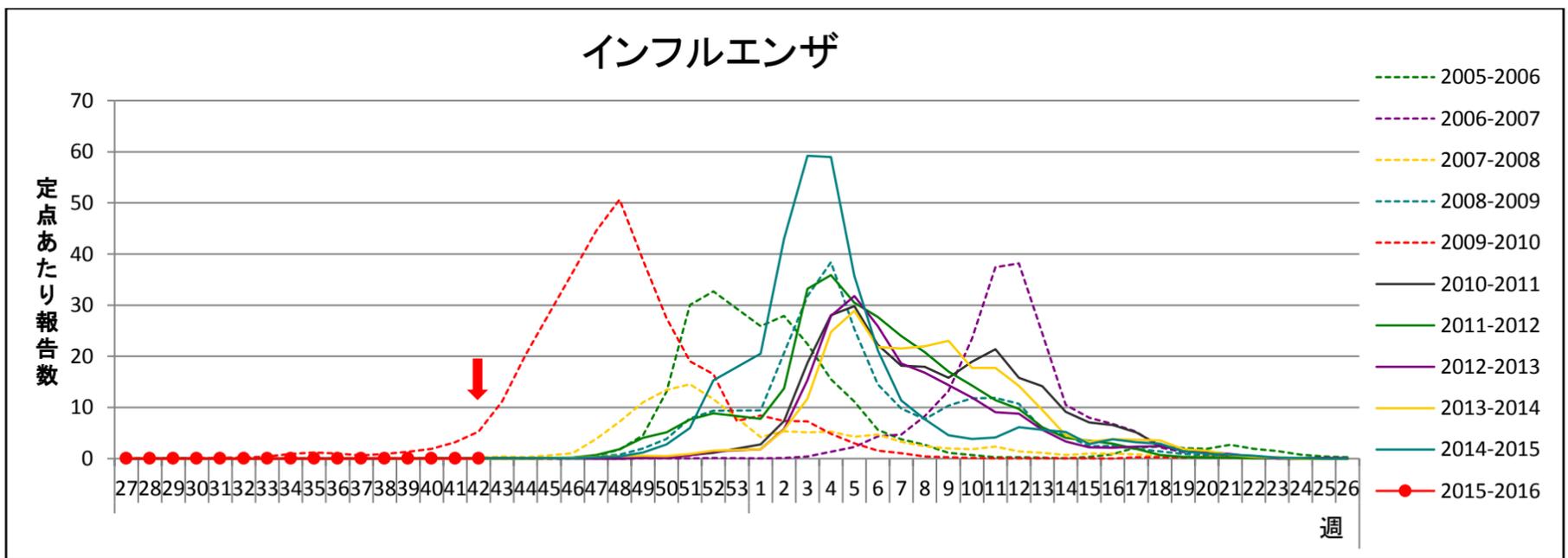
疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70~
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

( - : 0 )

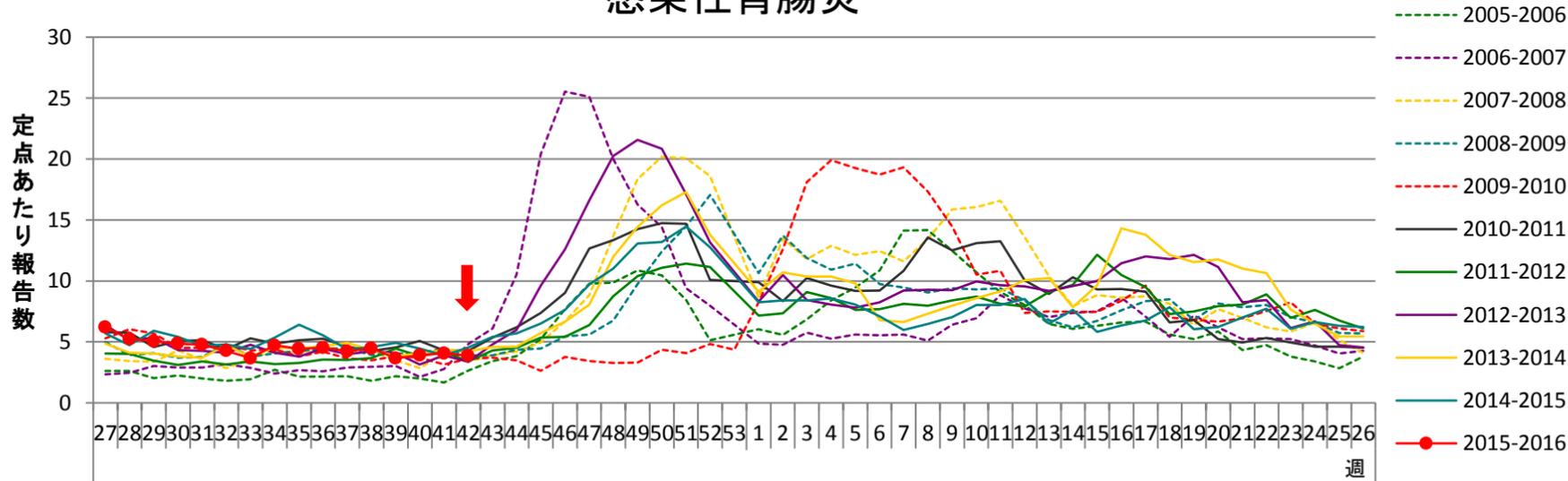
# 全数把握 感染症患者発生状況

2015年 42週

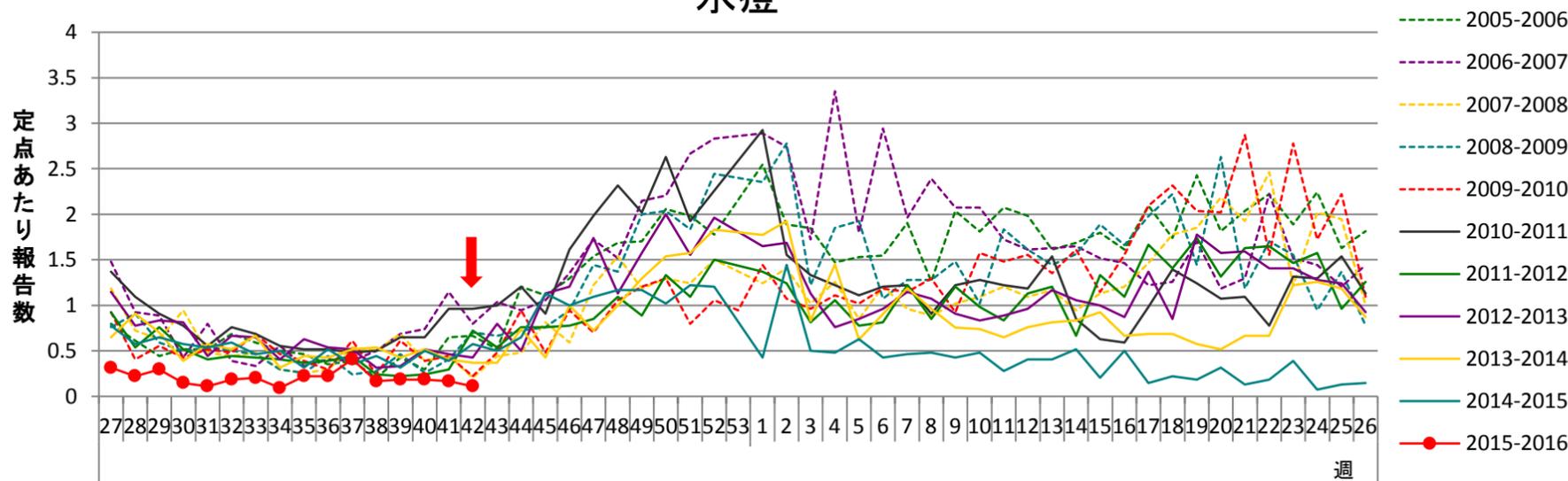
分類	疾病名	2015			疾病名	2014			疾病名	2015			2014		
		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年			
一類	エボラ出血熱	-	-	-	クリミア・コンゴ出血熱	-	-	-	痘そう	-	-	-	-	-	-
	南米出血熱	-	-	-	ペスト	-	-	-	マールブルグ病	-	-	-	-	-	-
	ラッサ熱	-	-	-		-	-	-		-	-	-	-	-	-
二類	急性灰白髄炎	-	-	-	結核	3	286	384	ジフテリア	-	-	-	-	-	-
	重症急性呼吸器症候群	-	-	-	中東呼吸器症候群	-	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)	-	-	-	-	-	-
	鳥インフルエンザ(H7N9)	-	-	-		-	-	-		-	-	-	-	-	-
三類	コレラ	-	-	-	細菌性赤痢	-	1	-	腸管出血性大腸菌感染症	-	60	71	-	-	-
	腸チフス	-	-	-	パラチフス	-	-	-		-	-	-	-	-	-
四類	E型肝炎	-	3	2	ウエストナイル熱	-	-	-	A型肝炎	-	6	8	-	-	-
	エキノコックス症	-	-	-	黄熱	-	-	-	オウム病	-	1	-	-	-	-
	オムスク出血熱	-	-	-	回帰熱	-	-	-	キャサヌル森林病	-	-	-	-	-	-
	Q熱	-	-	-	狂犬病	-	-	-	コクシジオイデス症	-	-	-	-	-	-
	サル痘	-	-	-	重症熱性血小板減少症候群	-	-	2	腎症候性出血熱	-	-	-	-	-	-
	西部ウマ脳炎	-	-	-	ダニ媒介脳炎	-	-	-	炭疽	-	-	-	-	-	-
	チクングニア熱	-	-	-	つつが虫病	-	-	2	デング熱	-	-	1	-	-	-
	東部ウマ脳炎	-	-	-	鳥インフルエンザ	-	-	-	ニパウイルス感染症	-	-	-	-	-	-
	日本脳炎	-	-	-	日本紅斑熱	-	1	4	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-	-	-	-
	Bウイルス病	-	-	-	鼻疽	-	-	-	ブルセラ症	-	-	-	-	-	-
	ベネズエラウマ脳炎	-	-	-	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-	発しんチフス	-	-	-	-	-	-
	ポツリヌス症	-	-	-	マラリア	-	2	-	野兎病	-	-	-	-	-	-
	ライム病	-	-	-	リッサウイルス感染症	-	-	-	リフトバレー熱	-	-	-	-	-	-
	類鼻疽	-	-	-	レジオネラ症	-	22	32	レプトスピラ症	-	-	-	-	-	-
	ロッキー山紅斑熱	-	-	-		-	-	-		-	-	-	-	-	-
	五類	アメーバ赤痢	-	16	12	ウイルス性肝炎*3	-	7	7	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染	-	27	12	-	-
急性脳炎*4		-	11	9	クリプトスポリジウム症	-	1	-	クロイツフェルト・ヤコブ病	-	1	1	-	-	-
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		-	1	3	後天性免疫不全症候群	-	18	21	ジアルジア症	-	2	1	-	-	-
侵襲性インフルエンザ菌感染症		-	1	2	侵襲性髄膜炎菌感染症	-	-	-	侵襲性肺炎球菌感染症	-	25	27	-	-	-
水痘(入院例に限る。)		-	4	6	先天性風しん症候群	-	-	-	梅毒	1	14	21	-	-	-
播種性クリプトコックス症		-	1	1	破傷風	-	-	1	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染	-	-	-	-	-	-
バンコマイシン耐性腸球菌感染症		-	-	2	風しん	-	-	2	麻しん	-	-	6	-	-	-
薬剤耐性アシネトバクター感染症		-	-	-		-	-	-		-	-	-	-	-	-



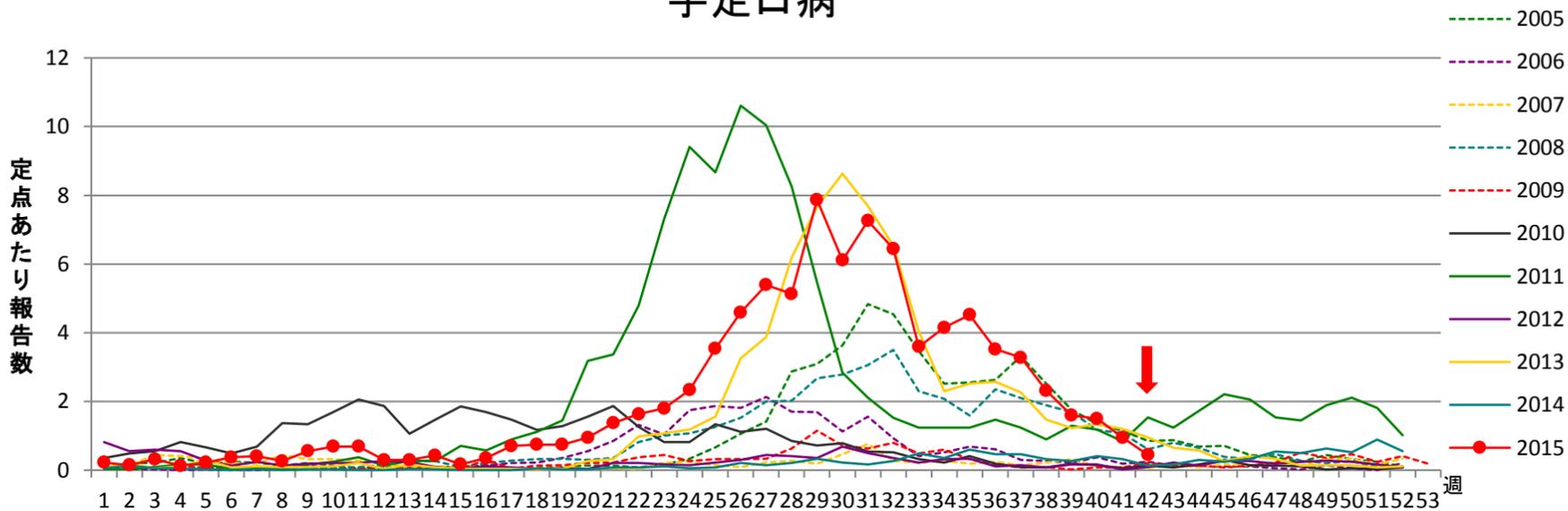
### 感染性胃腸炎



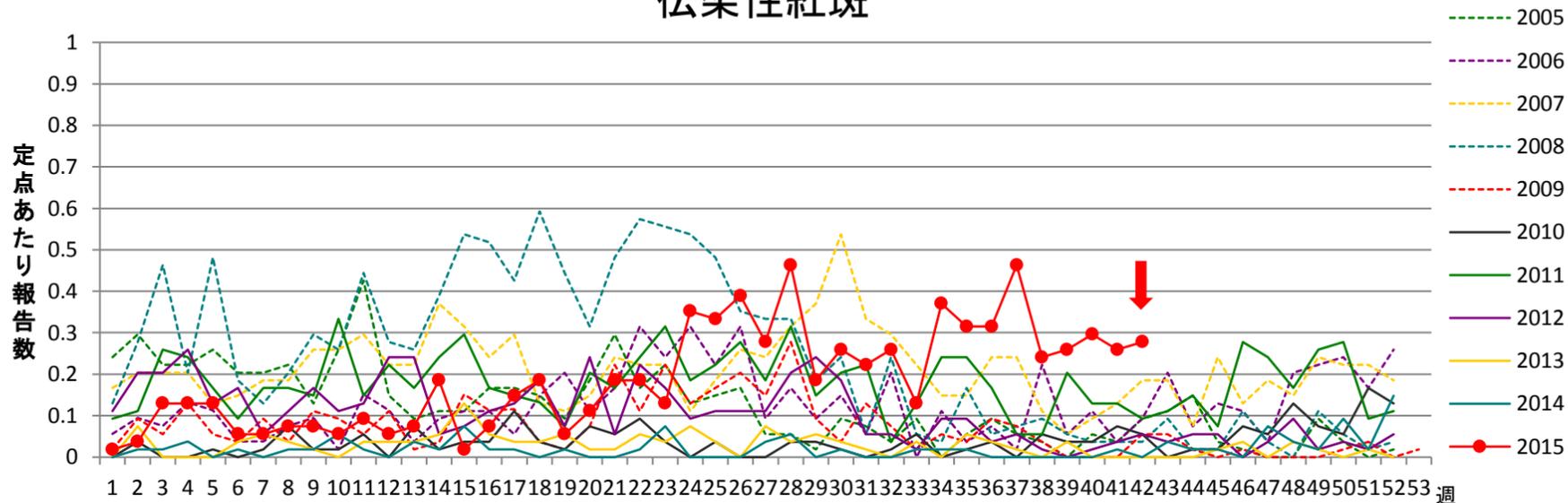
### 水痘



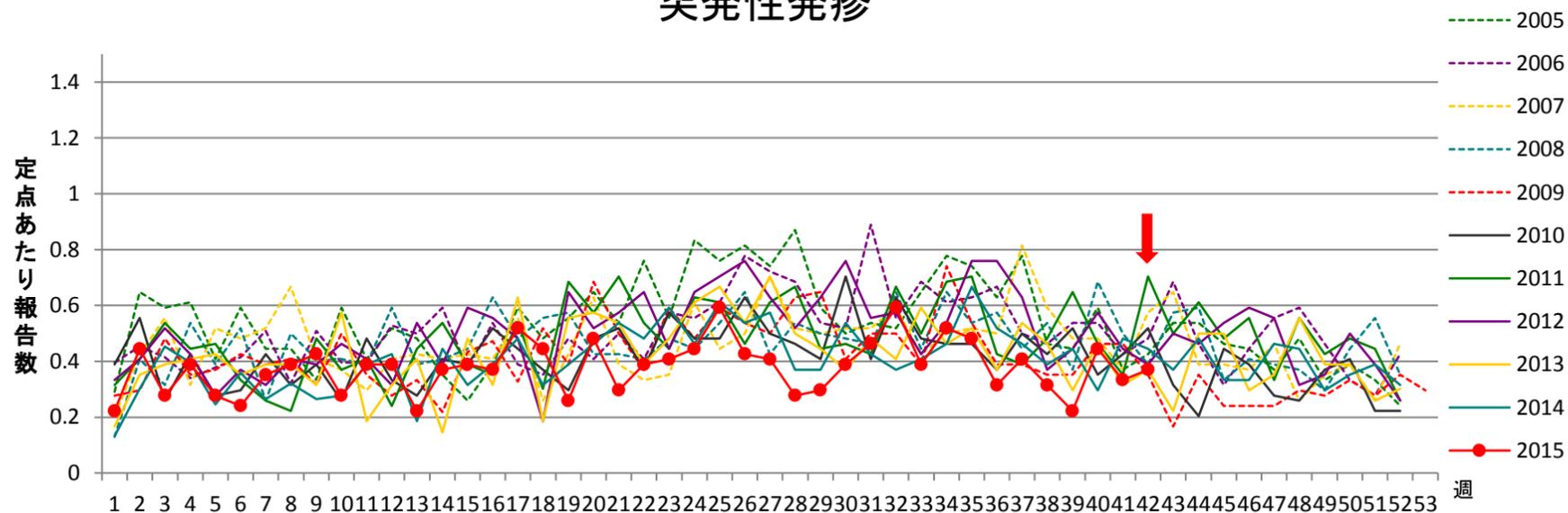
### 手足口病



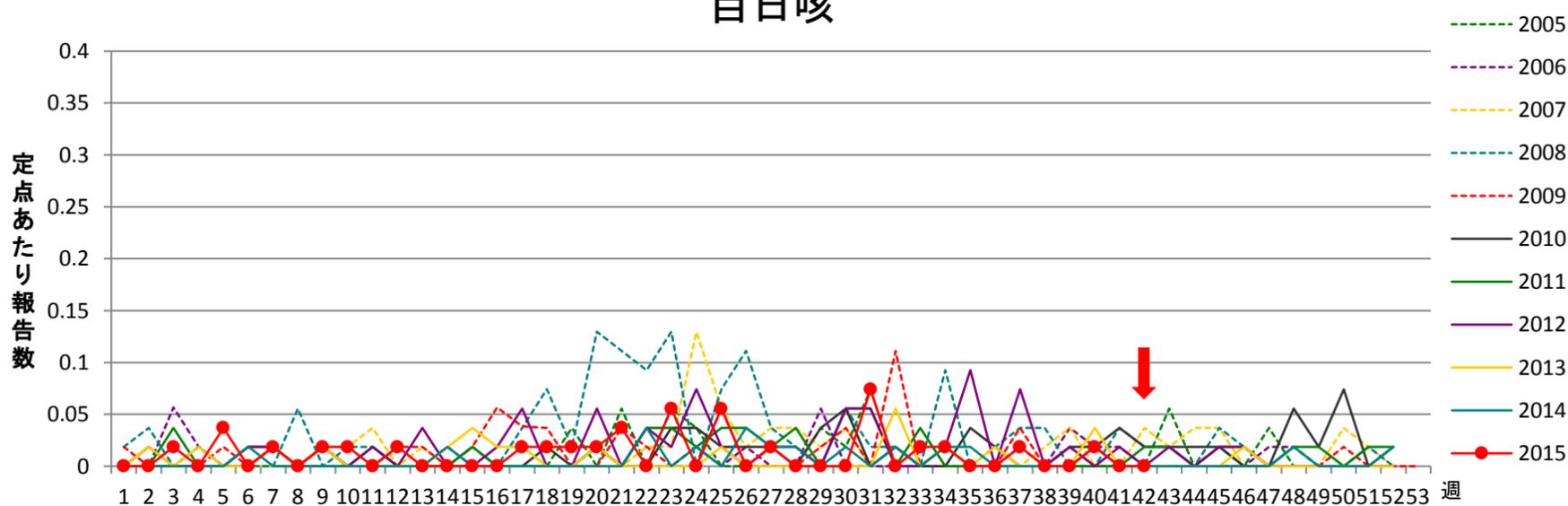
### 伝染性紅斑



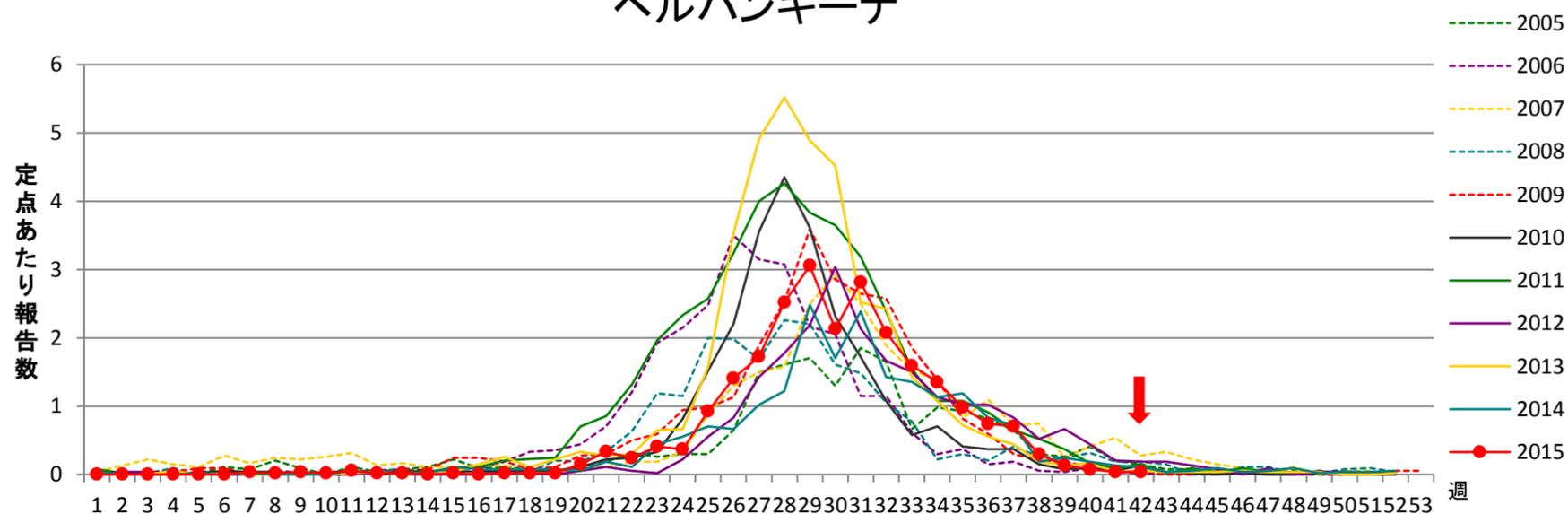
### 突発性発疹



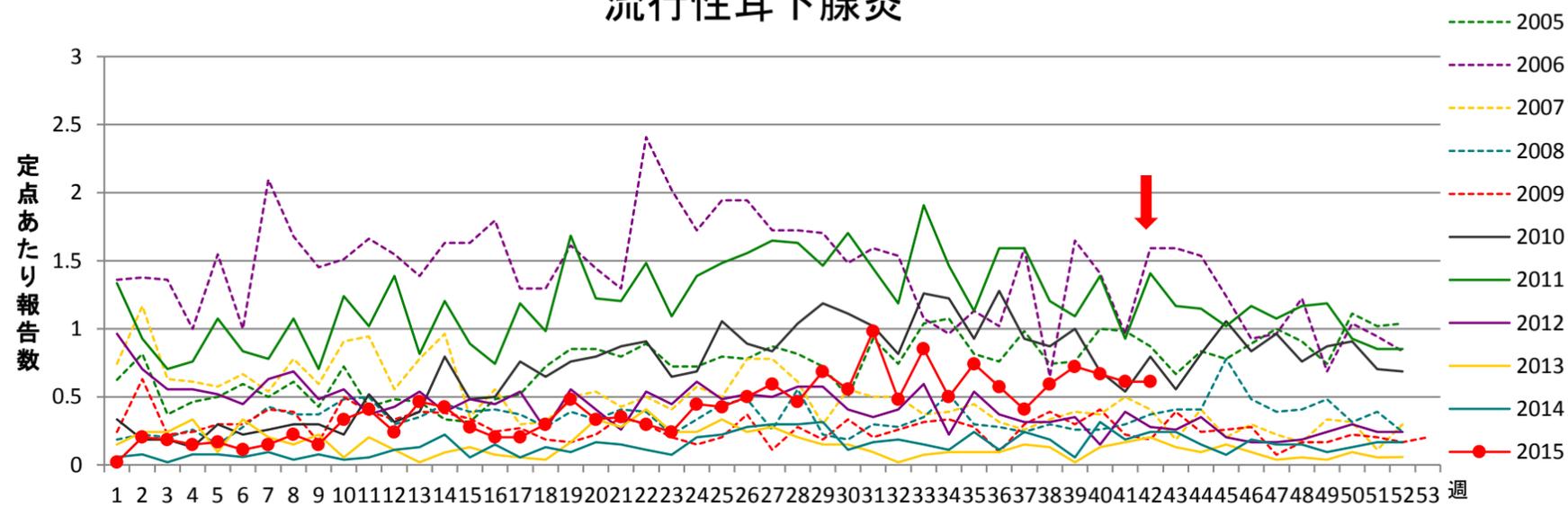
### 百日咳



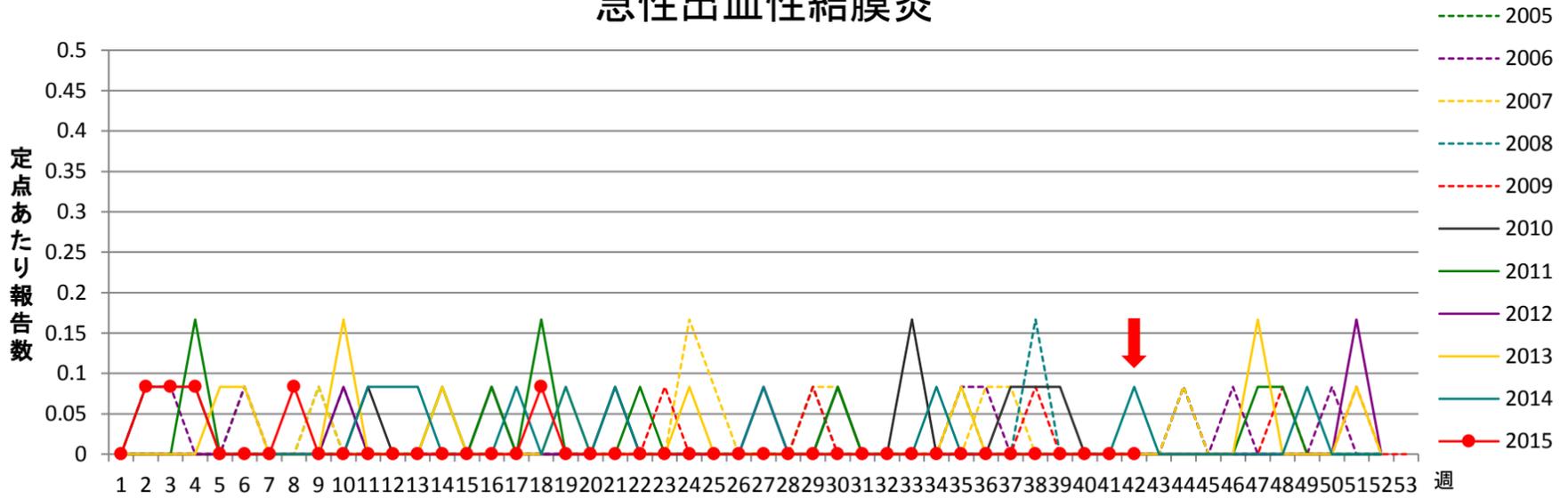
### ヘルパンギーナ



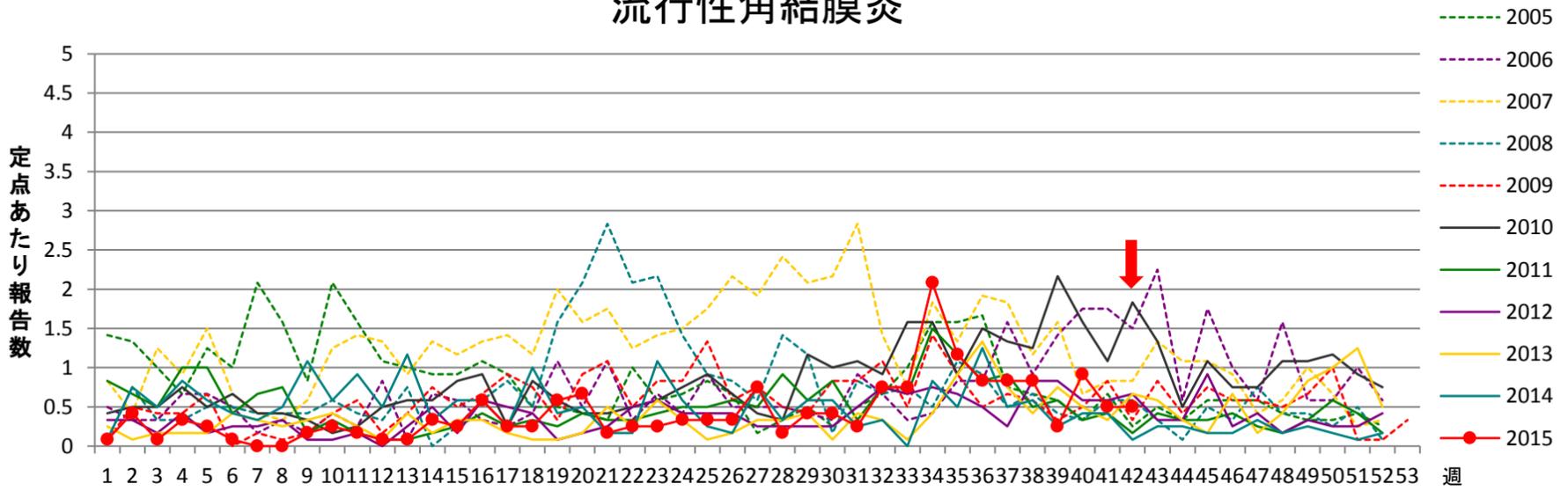
### 流行性耳下腺炎



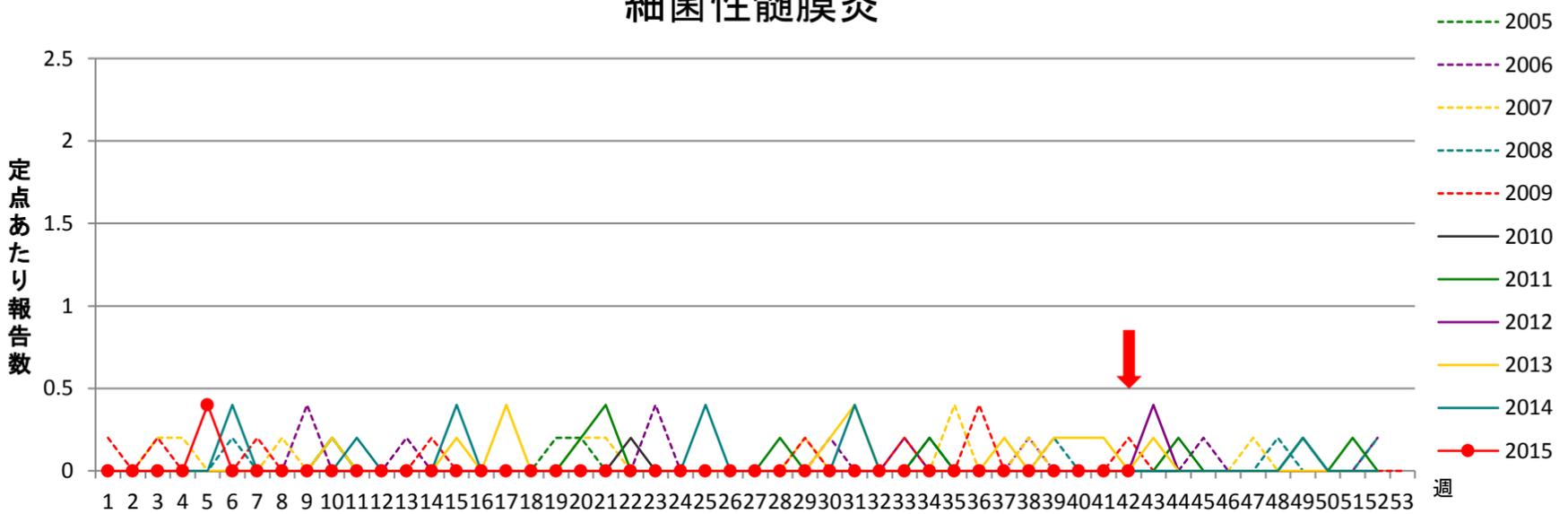
### 急性出血性結膜炎



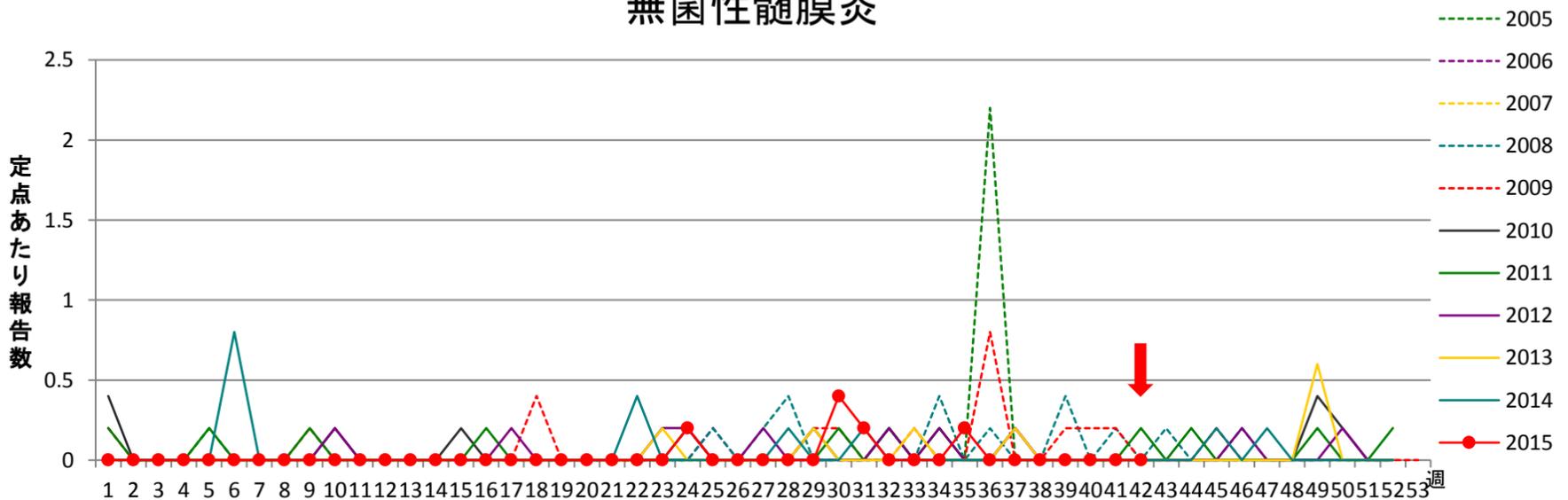
### 流行性角結膜炎



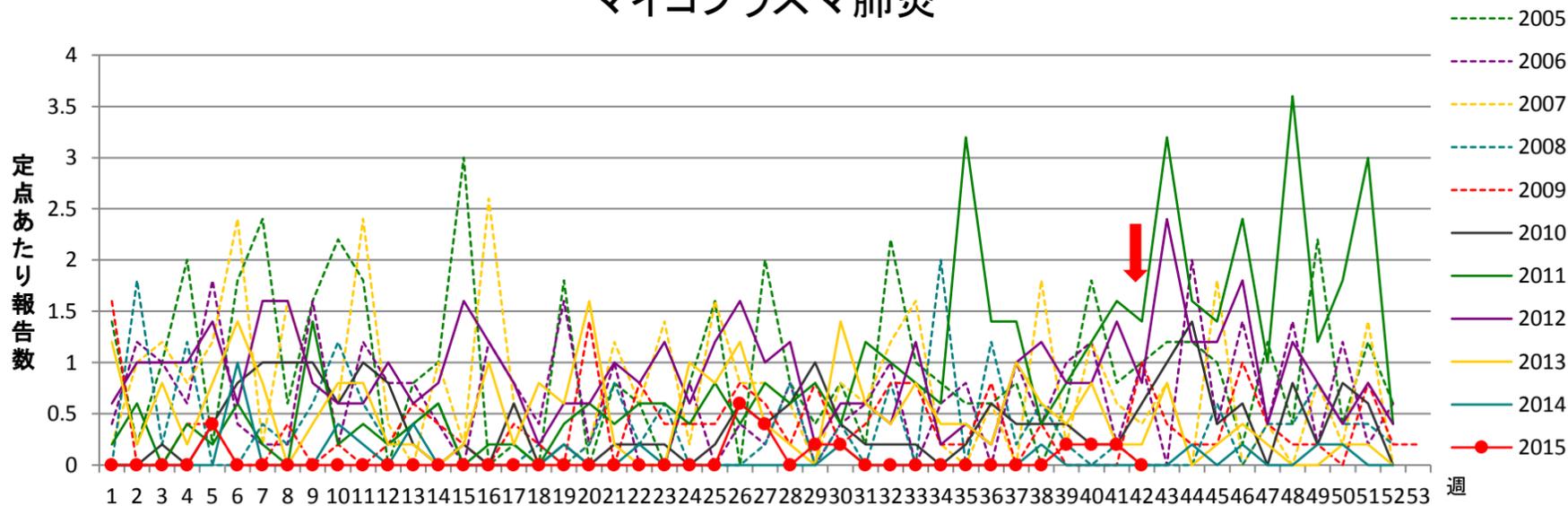
### 細菌性髄膜炎



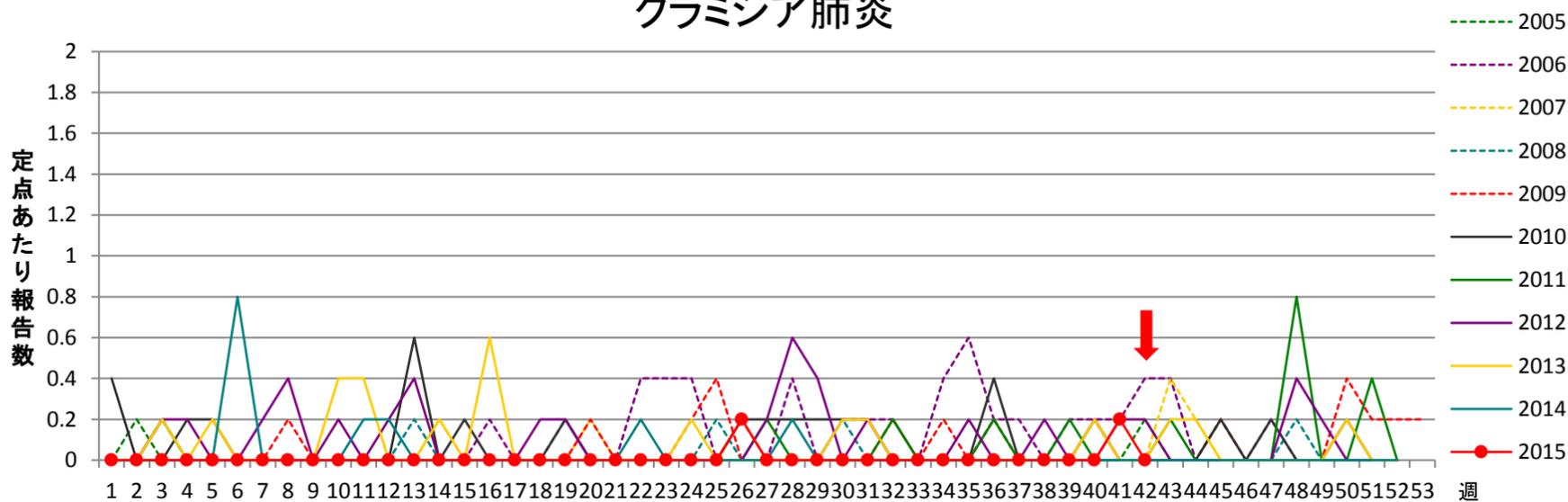
### 無菌性髄膜炎



### マイコプラズマ肺炎



### クラミジア肺炎



### 感染性胃腸炎(ロタウイルス)

